

第4章 地域公共交通の基本方針

1. 地域公共交通を取り巻く課題の解決を図るための基本方針

四街道市の最上位計画である「四街道市総合計画」では、基本構想において、まちづくりの方向性を『幸せつなぐ 未来への道しるべ -Yotsukaido Happy Road-』と定め、現役世代をはじめ、子どもから高齢者まで、さまざまな年代や立場から見たそれぞれが想う幸せな未来へとつなぐため、「未来を応援する道」「ふるさとを誇れる道」「こどもがまんなかの道」「人によりそうやさしい道」の“4つのまちづくりの道”を設定しています。

また、第1期基本計画においては、多様化する行政課題に柔軟に対応し、計画に基づく施策をより効果的に進めるため、「市民協働」「公民連携」「デジタル化」「シティプロモーション」の4つをまちづくりの推進力（エンジン）として設定し、政策を展開していくこととしています。

<4つのまちづくりの道>

人によりそうやさしい道

障がいのある人もない人も、さまざまな人が暮らすこのまちでは、だれにとっても住みやすく、生涯活躍できる、みんなが主役の四街道であることが大切です。

みんなが快適に過ごせる環境のもとで、いつまでも健康で、自分らしく生きがいをもって暮らしていけるまちに向け、人によりそうやさしいまちづくりを進めます。

未来を応援する道

社会的環境が大きく変化する中でも、子どもたちが将来の夢や希望をもつ、若者が夢の実現に向けて努力する、だれもが未来を切り拓くために挑戦する、そんな人を支えられる四街道であることが大切です。

未来を見据え、みんなで次代の主役たちが躍動する土台を整えることで、夢や希望に満ちたまちに向け、未来を応援するまちづくりを進めます。

こどもがまんなかの道

今を創り、未来を支えていくためには、現役世代が安心して生活できる環境のもとで活躍しながら、未来を担う子どもたちが健やかに成長できる四街道であることが大切です。

子どもの目線に立ち、子育てを地域みんなで支えることで、子どもも大人もみんなが楽しみながら自分の可能性を広げていけるまちに向け、こどもがまんなかのまちづくりを進めます。

ふるさとを誇れる道

選ばれるまちであるためには、積み重ねられてきた歴史や、豊かな自然環境を継承しながら、いつまでも魅力あふれる四街道であることが大切です。

地域資源である人・自然・歴史を活かした魅力あるふるさとづくりを行うことで、子どもから高齢者まで、みんなが好きなまちに向け、ふるさとを誇れるまちづくりを進めます。

<まちづくりの推進力（エンジン）>

市民協働

地域ごとのさまざまな課題への対応にあたっては、市民をはじめとした地域の担い手と連携・協力した共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。

公民連携

行政と民間事業者や大学などが連携し、それぞれが持つさまざまな強み（技術・知識・ノウハウ・資本等）を活かした共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。

デジタル化

日々進化し続けるデジタル技術を効果的に活用し、市民サービスの向上や効率的な行財政運営を図り、各施策を効果的に推進します。

シティプロモーション

四街道市の価値をさらに高め、認知度向上や交流人口・関係人口の増加につなげるため、地域資源をはじめ、さまざまな市の魅力的な取組を積極的に発信することにより、各施策を効果的に推進します。

これらの内容と地域公共交通を取り巻く諸課題を踏まえ、四街道市における地域公共交通は、次の基本理念及び基本方針に基づき、誰もが利用しやすい持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を目指します。

地域公共交通の課題

- ① 市の骨格を形成する鉄道及び路線バスの維持・確保と利用促進
- ② 市内循環バス「ヨッピー」の利便性と効率性の改善
- ③ タクシーの利用促進
- ④ グリーンスローモビリティのサービス検証による他地域への導入拡大検討
- ⑤ 高齢者の移動支援及び公共交通空白地域の解消
- ⑥ 公共交通機関同士の接続と広域アクセスの改善
- ⑦ 市民・来訪者にわかりやすい運行情報の提供
- ⑧ 利用促進に向けた市民意識の醸成
- ⑨ 多様な主体との連携・協働による持続可能性の確保

基本理念

みんなで創り、支える みんなに優しいまち四街道

基本方針1

地域の実情に応じた
地域公共交通ネット
ワークの形成

(対応する課題：①②③④)

市民、交通事業者、行政の三者が、それぞれの役割を認識し、連携を強化しながら互いに創意工夫することで、地域の移動実態に応じた地域公共交通ネットワークを形成します。

基本方針2

将来にわたって持続
可能な地域公共交通
の実現

(対応する課題：②④⑧⑨)

公共交通機関の利用を促進し、地域公共交通に関わる全ての関係者が適正な負担のもと、収支均衡の取れた地域公共交通サービスを目指し、持続可能な地域公共交通の実現を図ります。

基本方針3

誰もが利用しやすい
地域公共交通の環境
整備

(対応する課題：⑤⑥⑦)

利便性や安全性の高い地域公共交通の利用環境を市全域においてバランスよく整備することで、誰もが無理なく円滑に移動できるよう支援し、みんなに優しいまちづくりを進めます。

基本方針1

地域の実情に応じた地域公共交通ネットワークの形成

四街道市の人口は、令和12（2030）年をピークに減少に転じる見込みです。また、老年人口の割合は国・県と比較して高い割合となっており、免許返納した高齢者をはじめ移動手段の確保に対する不安は高まっています。

地域の特性や移動実態を踏まえつつ、鉄道、高速バス、路線バス、市内循環バス「ヨッピー」、タクシーなど既存の地域公共交通を最大限に活用するとともに、福祉施策や地域主体の取組との役割分担・連携を図りながら、地域の実情に応じた地域公共交通ネットワークの形成を目指します。

また、グリーンスローモビリティの活用については、実証運行の方法を見直し、その利用状況や効果などを踏まえながら導入エリア拡大に向けた検討を行います。

基本方針2

将来にわたって持続可能な地域公共交通の実現

地域公共交通を取り巻く環境は、人口減少、新型コロナウイルスの影響などにより利用者数が減少しています。また、燃料費の高騰や運転手不足などによる交通事業者の負担が増加しており、市内でもバス路線に減便が生じるなど、厳しい経営環境にあります。

このような中、市民の生活に欠かせない移動手段である鉄道、高速バス、路線バス、市内循環バス「ヨッピー」、タクシーなどの地域公共交通を将来にわたり維持・確保していくためには、これまで以上に地域自らが主体的な意識を持つことが重要となるため、市民、交通事業者、行政をはじめとする多様な主体が連携・協力し合うことにより、地域全体で支える持続可能な地域公共交通の実現を目指します。

基本方針3

誰もが利用しやすい地域公共交通の環境整備

移動における自動車への依存度が高く、鉄道やバスの分担率が低い傾向などから、地域公共交通の利用に不便を感じている方が多い状況が推察されます。

各公共交通機関同士を有機的に接続させ、乗り継ぎに対する負担の軽減や利便性の向上が図られるよう、交通結節点を中心とした乗継環境（ダイヤ、待合環境、運賃、定時性の確保など）の整備を目指します。

また、ICTなどの技術動向を見据えつつ、市民や来訪者にわかりやすい利用者目線に立った情報提供の充実を図るとともに、高齢者や障がい者、外国籍の方など誰もが無理なく円滑に移動できるように支援するため、地域公共交通に関連する施設や車両のバリアフリー化、多言語への対応、福祉有償運送の確保など、人に優しい移動環境の創出を目指します。

2. 地域公共交通ネットワークのあり方

(1) 地域公共交通ネットワーク形成の基本的な考え方

四街道市の地域公共交通ネットワークは、基本理念である「みんなで創り、支える みんなに優しいまち四街道」に向けて、広域アクセスに留意し、次の観点から利便性向上と効率的な運行を目指した地域公共交通ネットワークの形成を目指します。

- 朝夕の通勤・通学時間帯や日中時間帯の需要に応じた地域公共交通ネットワークの形成
- (広域) 幹線公共交通と地域内公共交通との連携強化

(2) 各輸送サービスの役割

各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、利便性向上と効率的な運行を目指した地域公共交通ネットワークの形成を目指します。

■ 各輸送サービスの機能分担

分類			交通機関	位置づけ・役割	対象者		移動量・距離	
					市民	来訪者	都市間	市内
地域公共交通	幹線	広域幹線公共交通	鉄道 高速バス	千葉市、佐倉市などの周辺都市及び東京方面へ連絡し、地域の骨格形成軸となる交通	○	○	◎	△
		幹線公共交通	路線バス(市外へ接続する路線)	千葉市、佐倉市などの周辺都市へ連絡し、地域間との移動を担う交通	○	○	○	○
	支線	地域内公共交通	路線バス(市内で完結する路線) 市内循環バス「ヨッピー」	地域内を中心に、買い物や通院などの日常生活の移動を担う交通	○	△	－	○
		面的公共交通	タクシー	ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的・柔軟に対応可能な交通	○	○	△	○
	補完交通		グリーンスローモビリティ	上記の交通を補完し、主に小エリア単位の需要に応じて運行する交通	○	－	－	△
輸送資源 その他の	特定の利用者などの移動を伴う交通		福祉有償運送 その他交通手段	病院、買い物、教習所など特定の利用者などの移動を担う交通	○	○	△	△

※ 移動量・距離 … ◎：多い(長い)、○：やや多い(やや長い)、△：少ない(短い)

(3) 交通結節点のあり方

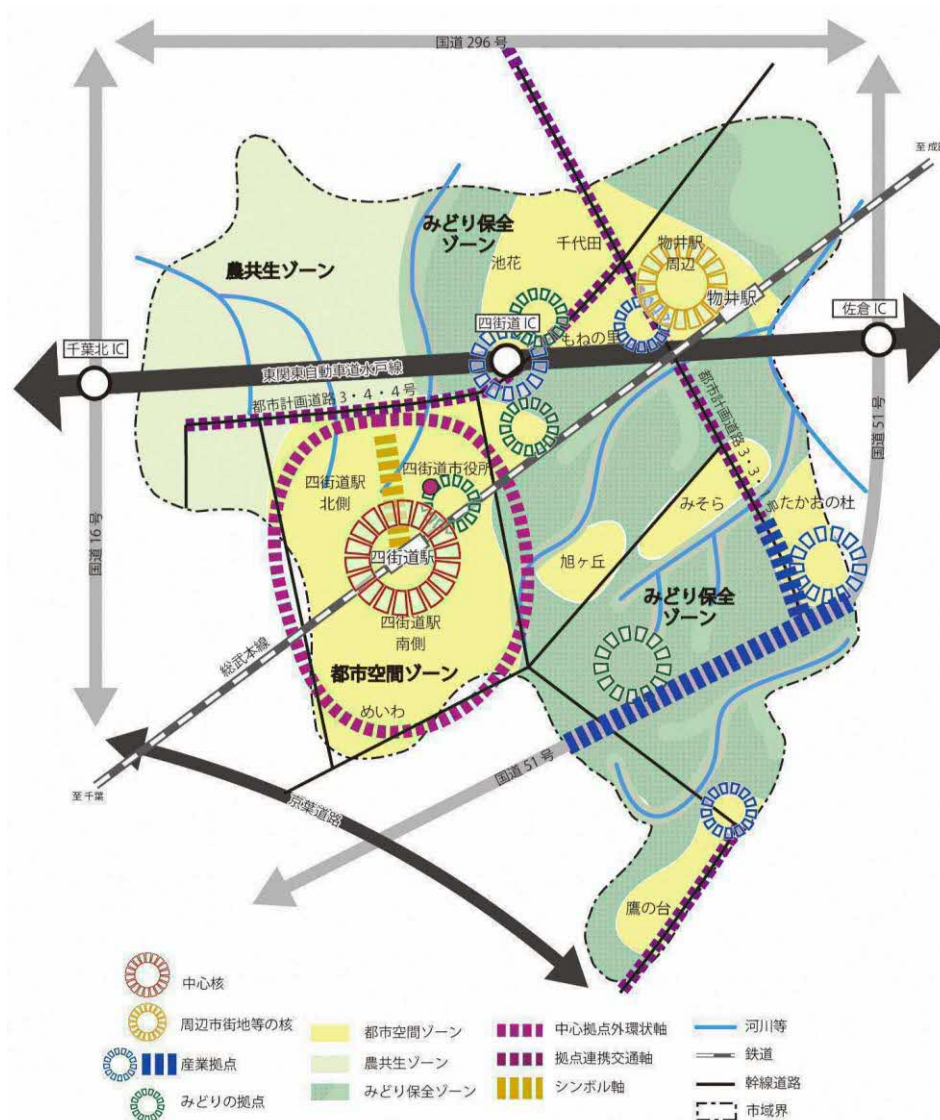
持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線交通の接続性を高める重要な役割を担うことから、「四街道市都市計画マスタープラン」で掲げた「まちの将来都市構造図」に示す「核・拠点」や「軸」との整合を図り、幹線同士、又は幹線・支線の乗り継ぎが可能な「JR四街道駅」及び「JR物井駅」とします。

■ 交通結節点における施設の整備状況（現状）

交通結節点	結節する交通手段					施設			
	鉄道	高速バス	路線バス	市内循環バス「ヨッピー」	タクシー	待合空間（ベンチ・上屋）	案内看板の多言語表記等	市営駐車場	市営駐輪場
JR四街道駅	○	○	○	○	○	○		○	○
JR物井駅	○		○		○	○			○

※ 結節する交通手段は、発着する路線など（タクシーの場合は専用の乗降場所）の有無を「○」あり、空白はなしで、施設は「○」設置済、空白は未設置を示しています。

■ まちの将来都市構造図

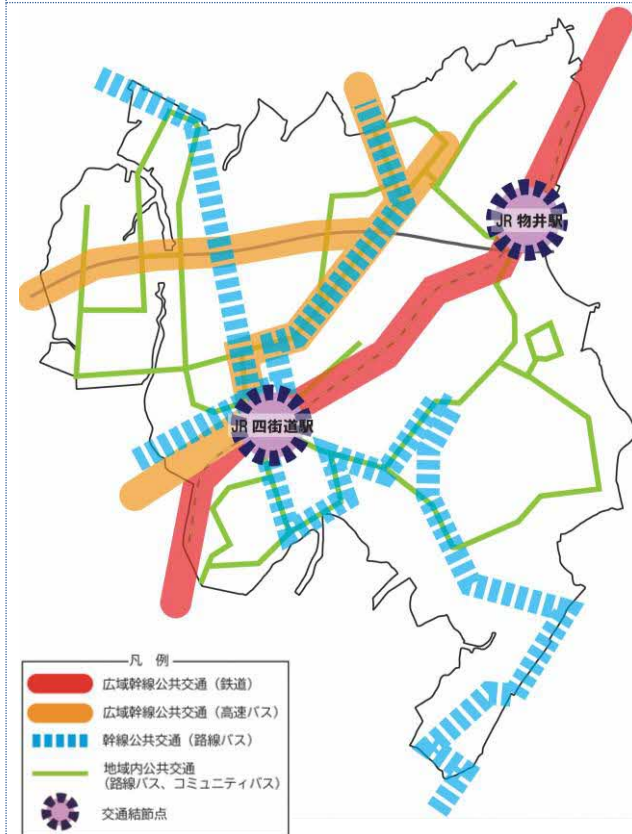


出典：四街道市都市計画マスタープラン

(4) 将来地域公共交通ネットワークイメージ

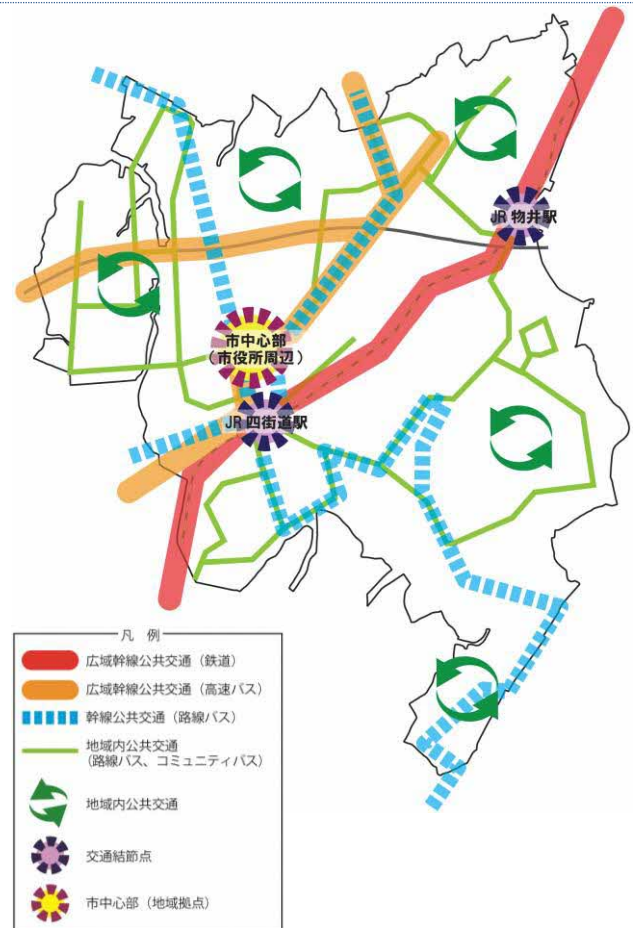
【朝夕時間帯】

- JR四街道駅やJR物井駅への通勤・通学需要への対応
- 鉄道等による広域アクセスへの移動支援



【日中時間帯】

- 地域内公共交通の充実による地域内の移動支援（買い物、通院及び公共施設利用時への対応）
- 市中心部（市役所周辺）への移動の円滑化



3. その他

(1) 地域間格差の改善に向けた考え方

- ・公共交通空白地域の全てに対して、市が財政負担を行い、公共交通施策を実施することは難しく、また、市が施策を進めていく場合においても、対象となる地域を一度に解消することは難しいため、地域の実態を踏まえながら、順次導入が考えられる公共交通施策について検討します。
- ・公共交通施策は、既存の路線バスやヨッピーのルート変更など既存の公共交通を有効活用することを基本とし、道路が狭隘な地区など地域特性上、既存の公共交通で対応ができない地域においては、新たな地域公共交通の導入などについて検討します。
- ・市が財政負担を行い、公共交通施策を実施することが困難な人口が少ない等の地域においては、地域が主体となって地域交通を確保することを基本とし、市は運行実現に向けた支援を行います。

(2) 市内循環バス「ヨッピー」の改善に向けた考え方

① 費用負担

- ・市は、初期費用（車両購入費、その他バス停設備などの費用）を原則として負担します。
- ・運行経費（毎年生じる人件費、燃料費、その他運行に必要な経費）については、運行収入により賄い、不足する場合は、運行経費の1/2程度まで負担します。
- ・市は運行に際して、市民の移動のしやすさの向上を図りながら、収益性も勘案して改善を図ります。

② 運行見直し等

- ・運行状況等により、必要に応じて運行方法等の見直しを行います。
- ・費用負担が運行経費の1/2を超えた場合、運行方法等の見直しを検討し、運行継続の判断を行います。
- ・運賃の見直しを検討する際、民間路線バスの運賃体系に基づく運賃との整合についても考慮します。

③ サービス水準

【運行ルート】

- ・可能な限り既存のバス路線との重複を避けることとします。
- ・運行に必要な協力や地域住民の積極的な利用など、地元の協力が得られることを条件とします。

【運賃】

- ・市内の公共交通利用の公平性の観点から、民間路線バスの初乗り運賃以上とします。

【運行間隔】

- ・市街化区域については、運行間隔40分以内を目標とします。ただし、利用状況等によりこの限りではないものとします。
- ・市街化調整区域については、地域ニーズや実情等に応じて、便数を検討します。

【運行時間帯】

- ・平日は、通勤・通学の利便性向上を図るため、運行時間は7時台から19時台までとします。
ただし、利用状況等によりこの限りではないものとします。
- ・土休日は、利用特性等を踏まえた運行時間とします。

【運行計画】

- ・運行に際しては、収支予測を含めた運行計画を立てることとします。

(3) 地域主体の地域交通の確保支援に向けた考え方

① 地域の盛り上がり

- ・地域の交通手段を地域自らの力で実現し、維持させていこうとする地域の盛り上がり意識を大切にします。

② 財政支援に頼らない

- ・市は本格運行に際して、原則として財政的負担を行わないため、収支均衡の運行計画を前提とした利用者負担、地域の負担等があることを基本とします。

■ 地域の取組と市の支援（フロー図）

